

第6回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクール開催報告

TIA連携大学院サマー・オープン・フェスティバルの一環として、第6回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクールは、TIAパワーエレクトロニクスMGと産業技術総合研究所主催、筑波大学数理物質研究科共催のもと、8月25日～28日の日程で行われました。サマースクール運営に携わった筑波大学 岩室憲幸教授にお話を伺いました。

第6回TIAパワーエレクトロニクスサマースクールが東京工業大学の赤木泰文特任教授をスクール長としTIAパワーエレクトロニクスMGと産業技術総合研究所主催、筑波大学数理物質研究科共催として実施されました。このサマースクールは、筑波大学大学院パワーエレクトロニクスコースの集中講義として他大学からの履修も可能になっており、筑波大学以外の大学の学生より単位認定の申請がありました。



講義風景



ポスターセッション

講義は3日間で、1日目の基礎、2日目の応用、3日目の最先端(英語での講義)として行われました。海外からは、Purdue UniversityのJames A. Cooper教授よりデバイス設計に関する講義を、また Georgia Institute of Technology の Thomas G. Habetler教授からは、パワーデバイスのモニタリングに関する講義をしていただきました。

学生修了者(中央手前の3名は奨励賞受賞者)



- 第1日目 基礎(技術史とパワエレ基礎、現状と課題)
- 第2日目 応用(ワイドバンドギャップ半導体への期待)
- 第3日目 最前線(研究開発の最前線)【英語講義あり】
- 第4日目 見学会(オプション)

Aコース: 鉄道総合技術研究所 参加17名
 Bコース: (株)東芝府中事業所 参加20名
 Cコース: TIA関連施設(AIST/KEK/筑波大) 参加39名
 Dコース: 電気の史料館 参加14名

その他国内の先生を含め、世界のパワーエレクトロニクス分野で活躍している著名な先生の講義を直に聴講できたことは、学生にとって非常に良い機会であったと思います。各講義では、質問の時間が足りず、休憩時間にも講師の先生と議論している学生の姿が数多く見られました。3日目の夕方には修了式が行われ、本サマースクールで積極的意欲的に参加したとしてTIAパワーエレクトロニクスサマースクール奨励賞が3名の学生に送られました。4日目は、見学会が行われました。見学は(公財)鉄道総合技術研究所、(株)東芝府中事業所、筑波大学を含むTIA関連施設、電気の史料館の4コースであり、パワーエレクトロニクスに関連した現場を見学することは、学生にとって興味深かったと思われます。

社会人修了者



開催日	2017年8月25日(金)～28日(月)
場所	産業技術総合研究所 つくば西事業所 TIA連携棟
主催	TIAパワーエレクトロニクスMG、産業技術総合研究所
共催	筑波大学大学院数理物質科学研究科
構成	講義13コマ+ポスターセッション+交流会+施設見学会
参加人数	132名 内訳: 学生名99名(大学院生87名、学部・高専生12名)、 社会人33名(TPEC参画企業23名、一般企業9名、公的機関1名)
表彰者	奨励賞3名

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学TIA推進室

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 Tel. 029-853-5891 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp